

農業者戸別所得補償制度の交付金に係る営農計画書

申請年月日 平成23年4月1日

〇〇地域センター長 殿
〇〇農政局長
北海道農政事務所長
内閣府沖縄総合事務局長
地域農業再生協議会長様

認定方針作成者等から通知された「生産数量目標」、「単収」、「作付面積換算値」を記入してください。「単収」が通知されていない場合は、認定方針作成者等に確認の上、記入してください。

平成 年産における農業者戸別所得補償制度の交付金に係る対象作物の作付面積を申告します。

作成者 フリガナ ノウリン タロウ
氏名又は法人、組織名 農林太郎
住所 東京 千代田区 霞ヶ関1-2-1
電話番号 012 (345) 6789
FAX 012 (345) 6789
経営形態 個人 集落営農(構成員) 法人

生産数量目標等(農業者等間調整後)記入欄
対象作物 生産数量目標(kg) 単収(kg/10a) 作付面積換算値(m²) 設定確認欄
主食用水稲 8,500 500 17,000
小麦 3,000
大豆 275
そば 180
なたね 150

生産数量目標等(農業者等間調整後)記入欄
対象作物 生産数量目標(kg) 単収(kg/10a) 作付面積換算値(m²) 設定確認欄
てん菜
てん粉原料ばれいしよ

農業共済加入状況(含加入予定)記入欄
追加している又は加入予定の場合は「○」を記入
水稲 麦 大豆 そば てん菜 てん粉原料用ばれいしよ

新規需要米・加工用米・備蓄米記入欄
区分 出荷・販売契約数量 生産予定面積 担当書記入欄
WCS用稲 米粉用米 飼料用米 その他 加工用米④ 備蓄米⑤ 合計

農地の利用計画記入欄
農地の番号 地名・地番、大字、字、集落地番 交付対象農地区分 作物 面積(本地種) 作物作付面積 作物名(注2) 耕畜連携助成 再生利用加算 緑肥輪作加算 地権者(権原を有する者) 植栽達成年月 転換畑該当年月 新規開田年月 備考

<地域農業再生協議会担当者記入欄>
米の所得補償交付金関係
米の生産数量目標(作付面積換算値)の達成状況
生産数量目標(作付面積換算値)(A) 水稲作付面積① 新規需要米等の面積計 ②=③+④+⑤ 主食用水稲作付面積(B)=①-② 差し引き面積(A)-(B) 判定
水稲共済適合基準面積
水田活用の所得補償交付金関係(水田活用の所得補償交付金の対象農地のみ該当)
麦 大豆 飼料用米(除WCS用稲) そば なたね 加工用米
基幹作物 二毛作 基幹作物 二毛作 基幹作物 二毛作 基幹作物 二毛作 基幹作物 二毛作 基幹作物 二毛作
WCS用稲 米粉用米 飼料用米
(耕畜連携助成) (再生利用加算) (緑肥輪作加算)
<地域センター担当者記入欄>
<記入欄>

(注1)一つのほ場で二毛作を行う場合には、ほ場欄を二段書きすることとし、「作期欄」において、主食用水稲(一般米、醸造用玄米、種子生産ほ場)又は転作として作付した作物は「1」、二毛作として作付した作物は「2」と表記することで区別する。
(注2)「作物名欄」には、主食用水稲(一般米、醸造用玄米、種子生産ほ場)、麦(小麦、二条大麦、六条大麦、はだか麦、ビール用麦、種子用麦)、てん菜、てん粉原料ばれいしよ(専用品種、その他)、なたね(油種用、その他)、そば、大豆(普通大豆、黒大豆、種子大豆)、飼料作物、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、加工用米、野菜等の作物名のほか、不作付地がある場合はその状態(調整水田、自己保全管理、土地改良通年施行等)をすべてのほ場について記入する。
(注3)耕畜連携助成の取組の種類には、①わら利用:わら専用稲の生産及び飼料用米生産ほ場のわら利用の取組 ②水田放牧:水田における牛の放牧の取組 ③資源循環:飼料生産水田への堆肥散布の取組 ④別を記入